

書名	古代都城の造営と都市計画		著者名	近江俊秀／著			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-09341-5	本体価格	¥9,000	発売	2015/1/1
内容	平城京遷都にあたり、どんな都市計画が行なわれたのか。地形にかなった基幹水路網を復元。宅地班給を分析し、その居住者を比定する。						

書名	奈良とっておきの上等なランチ		著者名	エディッツ／著			
出版社	メイツ出版	ISBN	978-4-7804-1513-1	本体価格	¥1,600	発売	2015/1/1
内容	奈良の上質な料理店の情報がつまった一冊。隠れた名料理人の店など味も雰囲気も贅沢な、とっておきのお店を厳選。						

書名	右大臣藤原不比等の完全犯罪		著者名	樽井 欣也 翻訳			
出版社	文芸社	ISBN	978-4-286-15804-4	本体価格	¥1,400	発売	2015/1/1
内容	蘇我入鹿(茂称)は、「倭国改め日本国」の天皇だった。しかし、クーデターが起きた！数多ある「古代史の謎」に、門外漢ならではの大胆な視点で挑む、新しき「古代史論」。「不比等は、実際には695年に起こしたクーデターを、書紀の上では、50年繰り上げ、645年に『乙巳の変』が起きたことにしました」(「2 クーデターは『新益宮』で起きた」より)						

書名	「古代学」とは何か 展望と課題		著者名	上田正昭／著			
出版社	藤原書店	ISBN	978-4-86578-008-6	本体価格	¥2,800	発売	2015/1/20
内容	古代を総合的に捉える！文字史料を批判的にも読み解き、また遺物や遺跡、神話や民間伝承までを総合的に考察することによって日本古代の実相を明らかにするのが、「古代学」である。この視座から、著者は朝鮮半島や中国など東アジア全体の中での日本古代史を、また支配層だけでなく民衆をも含めた社会全体のありようを、描きえた。「河内の飛鳥」、鎖国史観反対論、日本版中華思想の克服……等、独特の着眼点を余すところなく盛り込んだ、必携の「古代学」入門。						

書名	日本的思考の源泉を探る 神と自然の古代学			著者名	上野誠/著		
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-102302-5	本体価格	¥800	発売	2015/1/25
内容	独特の宗教観と自然観はいかに形成され、現代にまで影響を及ぼしているか。記紀万葉の世界に分け入り、古代の人びとの心性に迫る。						

書名	私の万葉集 第四巻			著者名	大岡信 /著		
出版社	講談社	ISBN	978-4-06-290257-1	本体価格	¥1,500	発売	2015/1/14
内容	『私の万葉集』第四巻。ここでは、大岡信が「万葉集」 卷十三から十六までを取り上げる。特に力を入れている巻十六は歌数こそ少ないものの、その多様性と知的興味を誘う魅力溢れた刺激的巻である。正岡子規もこの巻十六について書いているように、「滑稽的美」を感じる特異かつ最も重要な一巻である。						

書名	名前でよむ天皇の歴史			著者名	遠山美都男 /著		
出版社	朝日新聞出版	ISBN	978-4-02-273597-3	本体価格	¥820	発売	2015/1/13
内容	天皇の名前の由来には名前には漢風諡号、和風諡号、追号があり、時代によっても異なる。名前の由来から見える新たな日本史。						

書名	天皇家と古代史十大事件(仮)			著者名	関裕二 /著		
出版社	PHP研究所	ISBN	978-4-569-76273-9	本体価格	¥680	発売	2015/1/7
内容	大津皇子謀反事件の真相とは？ 長屋王暗殺はなぜ黙殺されたのか？ 天武朝から源平合戦まで、陰謀と謀殺が跋扈した日本史の闇を暴く！						